

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

ヘルスケアを通じて人々の健康を守る

売上高

46,900百万円

営業利益

5,900百万円

営業利益率

12.6%

ROIC

8.1%

2 中長期の経営戦略

1. がんの予防・治療への貢献

検診から治療薬選択・治療効果判定まで網羅した検査システムを開発。MINTS（多遺伝子変異検索システム）で肺がん項目を拡充し、コンパニオン診断の普及を進める

3. ヘルスケアに役立つ製品・サービス

遠隔診療・在宅検査に対応できる製品・サービスを拡大。モバイルヘルスへ発展させ、暮らしに寄り添ったモニタリングシステムの開発を目指す

2. 感染症撲滅・感染制御への貢献

LAMP法を活用した結核検査システム（TB-LAMP）をインド・アフリカで展開。迅速で正確な感染症診断システムの開発により医療アクセスを向上させる

4. 海外市場の開拓・拡大

便潜血検査用試薬の新規採用国増加、結核診断での顕微鏡検査から遺伝子検査への移行に対応。積極的な海外展開で需要を取り込む

3 対処すべき課題

① 検査システム開発の加速

- ・ MINTS肺がん項目の拡充とコンパニオン診断の普及促進
- ・ 便潜血検査試薬の郵送検診対応と大腸がん検診受診率向上
- ・ LAMP法による簡易感染症診断システムの開発

② グローバル展開の強化

- ・ 便潜血検査用試薬の新規採用国開拓
- ・ TB-LAMPのインド・アフリカでの採用拡大
- ・ 便中カルプロテクチン検査の欧米市場開拓

③ 生産・供給体制の整備

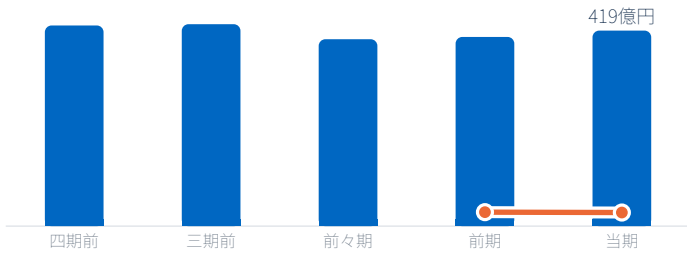
- ・ 需要予測精度の向上
- ・ 生産拠点の統合による効率性向上
- ・ ROICの導入による収益力と資本効率性の向上

面接で使えるポイント

- ・ EIKEN ROAD MAP 2030で3つの注力分野（がん・感染症・ヘルスケア）を設定し…
- ・ 検査のパイオニアとして、TB-LAMPをアフリカ・ナイジェリアで大規模採用・展開し、途上国の感染症撲滅に貢献している
- ・ 2028年度に売上高46,900百万円、海外向け15,100百万円の目標達成に向けて…

証券コード 4549

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
医薬品業界に属する上場企業で、検査薬の製造販売を主な事業として営んでいます

主力事業・セグメント

- ・医薬品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高

419億円

営業利益率

7.0%

財務健康度

60点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 58.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収

786万円

医薬品内 50位/80社

平均年齢

41.0歳

医薬品内 70位/80社

平均勤続

13.0年

医薬品内 28位/80社

女性管理職

18.7%

医薬品内 15位/41社

男性育休

100.0%

医薬品内 8位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 栄研化学(株)【4549】：決算情報

